

## 6 平成 17 年度 事業のまとめ

### (1) より便利で快適な図書館を目指します

#### ア インターネット図書貸出予約の実施

図書館ホームページや利用者用検索機で、図書の予約、貸出・予約状況の確認、貸出期間の延長ができるようになりました。

平成 17 年 10 月 12 日から図書館ホームページで予約の申込みができるようになりました。ホームページで図書の検索をして、借りたい図書が決まったら、図書館カード番号と事前に登録したパスワードを入力することで、予約申込ができます。また、電子メールのアドレスを登録した方は、予約図書の準備ができた連絡を電子メールで受け取ることができます。図書館に行かなくても、ご自宅や勤務先でゆっくりと図書を選んで、予約することができますし、携帯電話でも連絡メールを受け取ることができますようになり、大変便利になりました。

パスワードは、図書館ホームページで登録することができます。パスワードを登録していただくと、ご自分が借りている図書の書名と返却期限、予約している図書の書名と用意ができているかを確認することができます。また、図書の貸出期間の延長もホームページでできるようになりました。

インターネットをご利用にならない方でも、館内の利用者用検索機でパスワードを登録すると、インターネットを利用したときと同様に、予約申込、貸出・予約状況の確認、図書の貸出期間の延長ができますので、窓口には並ばなくてもいろいろな手続きができるようになりました。

【申込方法別予約受付件数】 (平成 17 年 10 月～18 年 3 月)

申込方法	受付件数	構成比
各図書館窓口	262,886 件	32 %
利用者用検索機	128,637	15
図書館ホームページ	442,055	53

#### イ 身近な公共施設での図書の貸出・返却の試行(地区センター等ネットワーク試行調査事業)

行政サービスコーナーや地区センター、駅返却ポストなどで図書の貸出・返却サービスを区役所と連携し試行調査として実施しています。

平成 17 年 12 月から、旭区の二俣川駅行政サービスコーナー、戸塚区の東戸塚駅行政サービスコーナー及び青葉区の奈良地区センターにおいて、市立図書館の所蔵図書の貸出・返却サービスを試行しました。

また、青葉区内の東急線の市が尾駅、青葉台駅、たまプラーザ駅に返却ポストを設置したほか、区民交流センター「田奈ステーション」ではカウンターでの図書返却サービスを実施しました(青葉区・奈良地区センターでの返却サービス及び市が尾駅の返却ポスト設置は、平成 17 年 5 月から先行実施)。

これらの区では、従来から図書館サービスの充実を求める声が多かったことから、各区役所も区政の重点課題と位置づけ、実施の準備段階から経費負担を含めて市立図書館との連携事業に積極的に取り組んできました。この試行調査の実施期間は平成 18

年度末までとし、期間中の利用件数や利用された方の満足度、費用対効果などを調査・検証して、今後の事業展開の方向や運営形態などを検討していきます。



(左) 二俣川駅行政サービスコーナーの図書サービスカウンター



(下) 東戸塚駅行政サービスコーナーの図書サービスカウンター



【平成 17 年度 利用実績】

区	場 所	実施内容	延べ利用数		
			利用者(人)	貸出(冊)	返却(冊)
旭	二俣川駅(相鉄) 行政サービスコーナー 平成 17 年 12 月 1 日～	貸出・返却	2,958	5,385	10,533
戸塚	東戸塚駅(JR) 行政サービスコーナー 平成 17 年 12 月 1 日～	貸出・返却	5,359	9,615	11,326
青葉	奈良地区センター 返却:平成 17 年 5 月 16 日～ 貸出:平成 17 年 12 月 1 日～	貸出・返却	688	1,193	5,602
	田奈ステーション(区民交流センター) 平成 17 年 12 月 1 日～	返却	/		
	市が尾駅(東急) 平成 17 年 5 月 16 日～ 青葉台駅(東急) たまプラーザ駅(東急) 平成 17 年 12 月 1 日～	返却ポスト			
					47,558

## ウ 公共情報端末の設置の試行（インターネット閲覧用パソコン設置）

中央図書館にインターネット端末を5台設置し、利用者に提供しています。

パソコンの普及とインターネット環境の伸展に伴い、日常の身近な事柄から専門的な事項までインターネットを利用した情報収集が不可欠になってきています。

平成18年2月21日から、中央図書館でインターネットの閲覧ができるパソコンが使えるようになりました。

3階カウンター前に、専用のパソコン5台を設置しています。利用する場合は、カウンターに申し込み、原則1人30分間ご利用になれます（空いていれば延長可能）。満席の場合は予約も受け付けています。

このパソコンは、図書館の図書や雑誌では入手できない情報について調査・研究するための道具として、お使いいただいています。そのため、中央図書館ポータルサイトとして、各図書館の蔵書検索、新聞記事、雑誌論文、法令・判例、統計、有価証券報告書、JIS規格・特許、文学賞などを探すのに便利なサイトを紹介しています（ただし、データベースを含めて有料サイトには接続できません）。

## エ 利用者の要望の把握

全図書館に「意見箱」を設置しました。

これまで一部の図書館で実施していた「意見箱」を全館に設置し、図書館サービスに対する意見やご提案を直接図書館に投稿していただけるようになりました。

「市民からの提案」に寄せられる声を聴き、生かしていきます。

横浜市では、広く市民の皆様からの声を聴き、市政に反映していくために、「市民からの提案」事業を実施しています。平成17年度に「市民からの提案」に寄せられた図書館に関する意見・提案は319件でした。要望事項の第1位は図書館の建設・充実に関するもので53件、以下、予約図書冊数制限（40件）、地区センターとの連携・返却ポスト増設などサービスポイントの拡大（27件）、市民対応（27件）と続いています。

施設の増設等、実現の難しい要望もありますが、皆様からお寄せいただいたご意見は真摯に受け止め、図書館サービスに反映してまいります。

図書館運営に関すること	図書館建設・充実	53
	サービスポイントの拡大	27
	開館日・時間の拡大	15
	施設に関すること	30
	その他	18
図書館サービスに関すること	貸出・返却に関すること	7
	予約に関すること	43
	図書館システムに関すること	27
蔵書に関すること	蔵書充実・資料収集	28
	資料管理・書架管理	8
職員に関すること	市民対応	27
その他	利用者マナー	7
	その他	29
	合計	319件

市役所全体の窓口アンケートの一環として、利用者（満足度）アンケートを実施しました。図書館独自のアンケートは、18年度に実施を予定しています。

『横浜市窓口満足度調査』として全市で実施したアンケートは、職員のあいさつ、身だしなみ、窓口の配置等10項目について、市民の皆様にご覧いただき「不満」「普通」「満足」の3段階評価をしていただくものです。10月に全市立図書館窓口でアンケート用紙を配布し、回収枚数は2,107枚でした。集計結果を見ると、『満足』(39%)『普通』(54%)『不満』(3%)『無回答』(4%)となっています。全体として、高い評価をいただきましたが、“案内表示のわかりやすさ”で8%の方が「不満」を感じられているなど、改善が必要な点も明確となりました。また、自由記入欄では、“丁寧”“親しみやすい”というおほめの言葉を頂戴する一方で、“無愛想”“横柄”な職員の対応や、“パスワード入力画面が隣の人から丸見え”といったプライバシーへの配慮を求める指摘もありました。

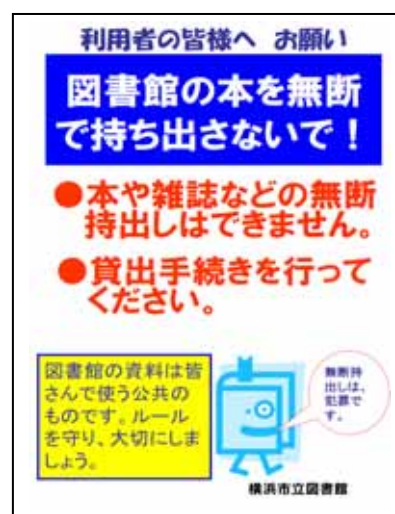
## オ 安全で快適な環境づくり

全図書館で、盗難防止キャンペーン実施しました。

市立図書館では、全館で平成17年11月3日(木)から11月30日(水)まで、「図書無断持出し防止キャンペーン」を実施しました。

一部の心無い人たちが無断で図書を館外へ持ち出すことで、毎年、多くの図書が行方不明になっています。また、落書きや切り取りも後を絶ちません。これらの行為を防止するための対策として、ICタグや防犯カメラなどの導入も考えられますが、費用の問題もあり実施することが難しい状況です。

市立図書館では、図書館をご利用になるすべての方がルールやマナーを守っていただけることを信じ、来年度以降も、案内表示やキャンペーンを通して地道な働きかけを行っていきます。



## (2) 学校など図書館以外の機関・団体との連携・支援に努め、様々なサービスを提供します

### ア 学校教育への支援（学校連携事業）

#### 教職員向け貸出サービスを実施しました。

市立図書館では従来から地域の学校とさまざまな連携事業に取り組んできました。平成16年度に作成した「学校向け来館利用案内」に続き、平成17年6月には「教職員向け図書貸出」の制度を設けました。これは、学校図書館の資料の活用を促進し補うものとして、市立学校の教職員自身の調査研究や、授業の場で児童・生徒に関連図書を紹介する際などに、一般の利用者とは別に貸出をするものです。案内の印刷物を学校に配布し、機会をとらえて教職員に広報した結果、延べ299件6,947冊の利用がありました。時期としては、11月を中心とした秋頃の利用が多く、教科では国語科や社会科での利用が目立ちました。レファレンスを伴う貸出もみられます。

また、「学校向け来館利用案内」には、全館で提供できるサービスとして、市立図書館の見学、図書館でのおはなし会、まち探検/職業インタビュー、体験学習、調べ学習の5項目を挙げてありますが、2年目に入り図書館見学と体験学習の受入れが増えています。

#### 【平成17年度 実績】

実施内容	延実施回数	延利用人数または冊数
図書館見学(まち探検/職業インタビュー含む)	176回	7,000人
おはなし会(読み聞かせ・ブックトーク等)	62回	5,953人
体験学習	69回	273人
調べ学習	24回	275人
その他(教職員向け講習等)	51回	816人
教職員向け貸出	299回	6,947冊

### イ 家庭教育への支援

#### 本に親しみ、図書館を身近に感じてもらうため、全図書館で児童向けに定例のおはなし会などを実施しています。

目と耳から同時に絵と言葉の心地よさを与える「読み聞かせ」は、子どもたちに物語や本の世界の楽しさを伝え、ひとりで読むことへの意欲や興味を呼び起こします。図書館では、子どもと本を結びつける活動の一環として、おはなし会を実施しています。定例おはなし会のほか、夏休みや冬休みに行う「特別おはなし会」、子どもと保護者が一緒に参加できる「親子おはなし会」などがあります。

また、おはなし会のほかには、映画会や図書館の仕事が体験できる「一日図書館員」などを実施しています。



【定例おはなし会（平成 17 年度開催日時）】

館名	開催日時	館名	開催日時
中央	毎月第 2 水曜日 15:30～	山内	月 1～2 回金曜日 11:00～(小さい子から)
鶴見	毎月第 2・4 水曜日 15:30～		月 1～2 回水曜日 15:30～(3 歳以上)
神奈川	毎月第 2・4 水曜日 15:30～	都筑	毎月第 3 水曜日 15:00～
中	毎月第 1・3 水曜日 15:30～	戸塚	毎月第 3 水曜日 15:00～
南	毎月第 4 水曜日 15:30～		「ちっちゃなおはなし会」
港南	毎月第 1・3 金曜日 15:30～		原則として毎月第 1 金曜日 11:00～
保土ヶ谷	毎月第 1・3 水曜日 15:00～	栄	毎月第 2 水曜日 15:30～
旭	毎月第 2 火曜日 16:00～	泉	毎月第 3 水曜日 15:00, 15:30, 16:00～
磯子	毎月第 2 水曜日 15:00～(3 歳～1 年生) 第 4 水 15:00～(同上), 16:00～(小学生)		「親子で楽しむおはなし会」(申込制)
金沢	毎月第 3 水曜日 15:30～	瀬谷	原則として毎月第 2 木曜日 10:30～, 11:00～
港北	毎月第 1・3 金曜日 15:00～		毎月最終水曜日(3 歳以上)15:30～
緑	毎月第 4 水曜日 15:00～		「ひよこのおはなし会」(申込制)
			原則として毎月第 2 木曜日 10:30～, 11:15～

【平成 17 年度 自主企画事業実績】

区 分	具 体 例	延実施回数	延参加人数
地域情報の発信・提供	講演会、展示会	13 回	73 人
生涯学習活動の推進・支援	講演会、講習会、セミナーなど	67	1,475
児童・生徒・幼児の読書・学習活動支援	講習会、業務体験、おはなし会、映画会など	696	17,373
地域機関・団体との連携協力	講習会、事業協力、後援など	38	1,740

子どもと楽しむ絵本講座を実施し、幼児を持つ保護者の読書活動を支援しました。

子どもたちに絵本の楽しさを伝えるには、家庭での働きかけが大切です。平成 17 年度は、“父親の育児参加の方法としての読み聞かせ”として、現役のお父さん 3 人による絵本の読み聞かせユニット『パパ s 絵本プロジェクト』による講演会を実施しました。参加者は親子参加を含め 58 人、うちお父さんは 8 人でした。父親ならではの絵本の見方や、絵本をコミュニケーションツールとして活用するといったお話しは、参加者の共感を呼んでいました。

**ウ ボランティアの養成・支援、市民との協働(読み聞かせボランティア養成講座)**

読み聞かせ等ボランティア養成講座を、中央図書館及び地域図書館(中、保土ヶ谷、都筑、栄、泉)で実施しました。

地域や学校で読み聞かせ等の活動を通じて、子どもの読書推進に取り組んでいる市民の方を対象とした実践講座です。全市的な取組として 2 年目を迎えた平成 17 年度も、多数の申込みをいただきました。

基本的な知識や技術の習得、実習を主な目的とした初心者向け講座のほか、今回新たな試みとして、絵本の読み聞かせ(経験者向け)講座



の中で、お互いの活動状況や悩み等について情報交換できる交流会を実施しました。参加者同士の活発な意見交換が行われ、図書館にとっても、各地域の現状やボランティアの置かれた状況をより深く知る良い機会となりました。

参加者の方々からは、「参考になった」「図書がその場で借りられるのが良い」等の感想とともに、「もっと講座数を増やしてほしい」という要望も多数いただきました。人（司書）・資料・情報、そして場を提供できる図書館の強みを生かした事業として、市民の自主的な活動を支え、地域の読書活動を推進していきたいと考えています。



本講座の他にも、緑図書館、瀬谷図書館の自主事業として、司書が講師となって絵本の読み聞かせ講座を実施しました。また、ボランティアへの支援として、資料貸出や運営相談、研修等への協力も行っています。

【平成 17 年度 おはなしボランティア講座実績】

内 容	講 師	開 催 日	会 場	参加人数
絵本の読み聞かせ講座 (初心者向)	湯沢朱実氏 市立図書館司書	9/14,21,28	泉図書館	延 64 人
		11/10,17,24	中央図書館	延 87
絵本の読み聞かせ講座 (経験者向)	平田美恵子氏 市立図書館司書	12/13,20	中央図書館	延 54
ストーリー・テリング講座 (初心者向)	伊藤洋子氏 市立図書館司書	11/15,30,12/7	中図書館	延 54
		1/17,31,2/7	栄図書館	延 51
読み聞かせとわらべうた 講演会(経験者向)	石川道子氏	9/7	保土ヶ谷図書館	41
		1/24	都筑図書館	38

エ 行政への支援(庁内情報拠点化事業)

市政の業務遂行に必要な資料・情報の提供を積極的に行いました。

庁内情報拠点化事業は、市役所内部での図書館への認識を高め、図書館サービスの充実につなげること、市役所が行う市民サービスを支援することにより、図書館サービスの拡大を図ることなどを目的として実施しています。具体的には、市役所各部署を対象に、日常業務や新たな事業の企画立案等のために必要な情報に関するレファレンスや資料提供などを行っています。また、業務や事業に関連したブックリストを各部署との協力により作成し、関係者に配布しています。

図書館による行政支援サービスについては、平成 18 年 3 月に文部科学省から出された報告書「これからの図書館像 - 地域を支える情報拠点を目指して - 」においても、公立図書館が今後取り組むべきサービスとして提唱されています。横浜市の「庁内情報拠点化事業」については、この「行政支援サービス」の先駆的な事例として全国的にも注目され、高く評価されています。

【実績】

区 分	業務用資料貸出（冊）		レファレンス受付（件）		ブックリスト作成（件）	
	対象局区数	利用実績	対象局区数	利用実績	対象局区数	利用実績
平成 13 年度	34	1,345	34	277	-	-
14	39	1,211	38	334	2	2
15	38	1,242	38	287	2	2
16	38	1,299	38	255	2	2
17	41	1,322	43	268	1	1

【ブックリスト一覧】

リ ス ト 名	提供年度	提 供 対 象 局
児童虐待関連文献リスト、児童虐待を考える 100 冊	平成 9 年度	衛生局・福祉局(現・健康福祉局)
自治の風景	平成 10～12 年度	総務局(現・行政運営調整局)
環境とは何か	平成 10 年度	緑政局(現・環境創造局)
地球温暖化を考える	平成 10 年度	環境保全局(現・環境創造局)
初めて出会う絵本のリスト わくわく見つけた！	平成 14 年度	衛生局(現・こども青少年局)
先輩係長が選んだ「新任係長に薦めるこの 1 冊」	平成 14～17 年度	総務局(現・行政運営調整局)
横浜市議員ブックガイド	平成 11,15 年度	市会事務局
ヨコハマは G30～環境問題に関する映像等資料	平成 16 年度	資源循環局

( 3 ) 図書館からの情報発信により利用者層の拡大に努めます

ア 図書館ホームページの充実

【図書館HPアクセス件数】

( 件・冊 )

	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
お知らせほか	566,514	672,959	1,399,468	1,866,081	3,428,155
蔵書検索回数	839,020	1,325,046	2,070,616	2,582,889	3,910,981
<参考>市全体	43,146,683	69,493,720	105,455,17	128,884,948	174,149,165

地域図書館 14 館のホームページを開設し、全館のホームページがそろいました。

図書館ホームページでは、市立図書館の利用案内やガイドマップだけでなく、催し物のお知らせや予約の多い本上位 50 冊など、図書館の最新の情報を提供しています。また、横浜市の歴史の年表や横浜の近代史を知りたい時に役立つ電子百科「都市横浜の記憶」を開設し、人気を得ています。そして、平成 18 年 1 月には、従来の鶴見・都筑・泉図書館に加え、他の 14 館でもホームページを開設し、全 17 館の地域図書館のホームページがそろいました。



トップページに「図書館の催し物」欄を新設したほか、「資料目録」や「テーマリスト」「予約の多い本」を掲載するなどコンテンツの充実に努めました。

蔵書検索システムでは探しづらい資料や特定テーマの資料などを、【資料目録】【テーマリスト】としてホームページ上で提供しています。平成 17 年度は、【資料目録】にビジネス支援の一環として「会社録・名鑑一覧」「専門・業界新聞(ビジネス関連分野)」を、【テーマリスト】に社会的な関心が高まっている「発達障害を知る本」「食育を考える」、郷土資料を駆使した『横浜市内学校名変遷』、11 月に実施した「情報検索講座」のレジュメを掲載しました。

また、タイムリーな情報を提供するため、関連サイトの紹介に重点を置いた「耐震強度偽装問題資料」を情報発信コーナーに掲載しました。

## イ 外国人居住者へのサービスの向上

バンクーバー、上海市に加え、新たに台北市の図書館との図書交換を行い外国語図書の充実を図りました。また、中国語図書の所蔵一覧を作成し、関係団体等へ配布し PR に努めました。

中央図書館では、国際交流事業の一環として、相互の友好交流・文化理解を深めるとともに外国語図書の充実を図ることを目的とし、海外の図書館と国際図書交換を行っています。従来から実施している上海図書館・バンクーバー公立図書館に加え、平成 17 年度は、台北市との文化交流事業の一環として、台北市立図書館との図書交換を初めて行いました。

台北市立図書館からは、高速鉄道や建築、美術、人名録、年鑑など 35 冊を送っていただき、中央図書館からは、横浜や日本に関する図書や受賞図書など 30 冊を送りました。また、図書交換とは別に児童書 117 冊も寄贈していただきました。一般書は 3 階・姉妹友好コーナー、児童書は 1 階・児童書コーナーで公開しています。

## (4) 市民の調査研究を支援します

### ア ビジネス支援の強化

ビジネス関連資料の充実を図るとともに、電子メール(Eメール)でのレファレンスを受け付け、回答しました。

従来のホームページ上のビジネス情報源のページを一新し、様々な関連情報を盛り込んだ「中央図書館のビジネス支援サービス」のページを新設しました。ビジネス関連資料コーナーのほか、「資料目録」「テーマリスト」「レファレンス」「CD-ROM データベース」などビジネスに有用な図書館サービスをまとめて紹介しています。

また、これまではカウンターでの口頭及び電話で受け付けていたレファレンスサービス(必要な情報を探すお手伝い)を、平成 16 年 5 月から電子メールでも受付を始めました。これは、“ビジネスシーンにおける課題解決に役立つ図書館”を目指すビジネス支援事業の一環として、来館せずにいつでも気軽に利用できる手段を提供しようとしたものです。平成 17 年 1 月からは、生活スタイルの変化に応じたサービスとして、ビジネス関連だけでなく、あらゆるレファレンスにお答えするようサービスを広げま

した。受け付けたレファレンスには、依頼内容に応じた所蔵資料の紹介などの回答を電子メールでお送りしています。平成 17 年度には 393 通の電子メールが寄せられ、所蔵資料の問い合わせ 92 件、事項調査の依頼 265 件にお答えしました。

## イ 市民の調査研究への支援

### 図書館ホームページにレファレンス事例集を公開しました。

図書館では、毎日多くの方からの問い合わせや相談を受け、必要な図書や情報を探すお手伝いをしています。寄せられた相談とその回答を見ると、同じようなことを調べるときに、「このように調べればいいのか」「こんな参考図書があるんだ」など、参考になる事例がたくさんあります。そこで、平成 18 年 3 月から、こうした役に立つレファレンス事例集を図書館ホームページに掲載し、レファレンスサービスの PR に努めています。

### 平成 17 年 11 月に、市民向けに全 5 回の情報検索講座を開催しました。

情報活用能力(情報リテラシー)の習得を目的とし、本とインターネットの両方を使った“調べ方のコツ”を伝授する、中央図書館の『情報検索講座』も 3 年目となりました。今年度は全 5 回の講座に延 118 人の参加がありました。代表的な図書資料と Web サイトの紹介、使い分けのポイントなど情報の探し方のコツを調査資料課の司書がご案内しました。また今年度から講座のレジメを HP に公開し、より多くの方にご覧いただけるようにしました。

#### 【平成 17 年度 情報検索講座】

内 容	開 催 日	参加人数
第 1 回 『情報検索の基礎知識』	11/12 (土)	43 人
第 2 回 『起業を考えはじめた人の図書館入門』	11/13 (日)	19
第 3 回 『地図を探す』	11/13 (日)	19
第 4 回 『パパとママのための情報検索』	11/14 (月)	9
第 5 回 『インターネットで見る横浜の歴史』	11/12 (土)	31

その他、7 地域図書館で「検索機使い方講習」(利用者用検索機の使い方の講習)を、延 25 回(参加者延 146 人)実施しました。

### 市民向けに、「生命と倫理」をテーマに全 5 回のグレートブックスセミナーを開催しました。

グレートブックスセミナーとは、長く読み継がれてきた古典的作品などを題材に、参加者同士の対話を通して、本の読み方やディスカッションの方法論を学ぶセミナーのことです。中央図書館では、より親しみやすいセミナーを目指し、古典に限らず様々なテキストを題材に選んでいます。横浜市立大学との連携事業である本セミナーには、医学部学生も参加し、一般参加者とともに活発な討論を行いました。

テ キ ス ト	モデレーター (進行役)	開催日時	参加 人数
第1回『人間であること』 時実利彦 / 著 岩波書店(岩波新書)	蟹沢成好氏	9/14	28
第2回『花埋み』 渡辺淳一 / 著 集英社(集英社文庫)	鈴木良昭氏	10/15	29
第3回『僕に死ぬ権利をください 命の尊厳をもとめて』 ヴァンサン・アンベール / 著 山本知子 / 訳 日本放送出版協会	大西秀樹氏	11/5	24
第4回『饗宴』 プラトン / 著 久保勉 / 訳 岩波書店(岩波文庫)	宮原忍氏	11/26	24
第5回『じぶん・この不思議な存在』 鷲田清一 / 著 講談社(講談社現代新書)	穂坂正彦氏	12/17	22

## ウ 横浜関連資料の収集・保存・活用

市内大学・企業の資料を収集し、大学・企業資料コーナーを開設しました。また、全図書館で教科書展示会を行うとともに、採択教科書を図書館資料として常時閲覧できるようにしました。

市内の大学・企業情報の充実をめざして、平成17年11月に中央図書館3階のヨコハマ資料部門に「市内大学・企業資料コーナー」を設置しました。ここには、大学資料として、市内にキャンパスを置く大学・短期大学からご寄贈いただいた、大学案内、研究紀要、生涯学習講座案内等があります(詳細はP23参照)。また、企業資料としては、市内に最近新たに立地した企業(新規立地にあたり過去に市の助成制度を受けた企業)の会社概要や製品紹介パンフレット等、ほかではなかなか入手できない資料を置いています。このほか、図書館ホームページでは、あわせて業種、主要製品・サービス、セールスポイント、連絡先などの企業情報を一覧表にして掲載しています。

「セピア色の横浜ライフ展」(平成17年8月23日~9月5日)と、「美空ひばり展」(平成17年12月21日~平成18年1月9日)を開催しました。

また、図書館総合展(平成17年12月1日)及び横浜教育フェスティバル(平成18年1月14日)において、貴重資料をデジタル化した「都市ヨコハマの記憶」を紹介しました。

中央図書館では、横浜の歴史をたどる手がかりとして、展示会、講演会などを通して所蔵資料の紹介を行いました。

展示会「セピア色のヨコハマライフ展 - 装い・嗜み・遊び - 」では、戦前の横浜の市民生活の中から、美容、裁縫、料理、園芸、カフェ・ダンス・音楽会、団体旅行の6分野をテーマとして、パンフレットやチラシなども含めた当時の貴重な資料を紹介しました。また、「所蔵資料に見る美空ひばり展 - 横浜時代とその後」では、横浜に生まれ育ち、天才少女歌手から戦後を代表する国民的歌手と言われた美空ひばりの生涯を、戦後の世相とともに、プロマイド・ビデオ・パンフレット・原稿などの関係資料を展示して



たどりました。

また、パシフィコ横浜を会場とした「図書館総合展」において、ブースの出展と講演会を開催しました。

教育委員会主催の「横浜教育フェスティバル」では、横浜の教育を「見る」「聞く」「共に考える」をキャッチフレーズに、各種事業の展示、活動報告、講演やシンポジウムなど、さまざまな教育関連プログラムが行われました。図書館としては、「開港からの近代史を知る横浜資料」と題して、デジタル化した横浜絵や歴史地図を中心に紹介・解説し、横浜の歴史を学習する際の副読本として有効なデジタル化資料の利用法を提案しました。

文化財課と連携し郷土資料などの企画展示を、4地域図書館（中、保土ケ谷、磯子、港北）で実施しました。

教育委員会生涯学習部文化財課と連携し、各区の横浜市指定文化財のパネル展を、4地域館で実施しました。また、中図書館ではパネルのほか、埋蔵文化財センター所有の文化財の展示をあわせて行いました。

このほか、瀬谷図書館では地域活動グループと連携し、区内の風景写真をスライド化したものをパソコン上映し、郷土資料の活用を促しました。

## エ 市内大学との連携強化

市内大学図書館リンク集を作成し、ホームページに掲載しました。

市立図書館では、日ごろから資料の充実に努めていますが、時によって特定の大学にしかない専門的な資料を紹介することが必要となる場合があります。従来、大学図書館は学生や教官などの限られた者のみが利用できるというイメージがありましたが、最近では学外の方でも利用（市民利用）できるところが増えてきました。そこで、平成17年11月から図書館ホームページに市内大学・短期大学図書館のリンク集を掲載し、大学図書館利用のご案内をするとともに、各ホームページにある蔵書検索や資料探索の方法、データベースの紹介、リンク集など役立つ情報を活用していただいています。

市内27大学のうち22大学から大学紹介等の資料提供を受け、資料コーナーに公開しました。

図書館では、夏休みや受験シーズンなど、大学受験生の姿が多く見られます。受験勉強のための資料探しのほかに、大学選びのための情報収集にも図書館が利用されています。そうした方へ大学の情報を提供するため、市内にキャンパスを置く27大学・短期大学に協力を求めて資料を集め、平成17年11月に3階ヨコハマ資料部門の一角にコーナーを開設しました（企業資料もあわせて置いています）。大学案内のほか、研究紀要や報告書、教員案内、さらには市民向けの生涯学習講座のお知らせを置いている大学もあります。

横浜市立大学と連携して生涯学習講座「健康医療フォーラム」を2回、開催しました。

横浜市立大学との共催で、市民向け講座「健康医療フォーラム」を中央図書館地下ホールで開催しました。

内 容	開 催 日 時	参 加 人 数
前立腺がん - 家族みんなで知ろう前立腺の病気	10/8 (土)	200 人
「歯科インプラント治療とは」	1/14 (土)	200

## (5) そのほかのトピックス

### 財源確保のための取組

図書館ホームページ(市立図書館トップページ、蔵書検索トップメニュー)へのバナー広告の掲載と、図書貸出票(感熱ロール紙)裏面への企業広告の掲載を実施しました。

横浜市では、厳しい財政状況の中で、市の保有する資産を活用して新たな財源を確保するため、全市を挙げて広告事業を積極的に展開しています。

市立図書館でも、17年4月から図書館ホームページ(図書館トップページ及び蔵書検索トップメニュー)にバナー広告を掲載するとともに、9月からは館外貸出の際に利用者にお渡しする貸出票の裏面にも企業広告を掲載しています。

この結果、バナー広告では年間96万円の広告料収入を得たほか、貸出票への広告掲載により用紙購入費を約85万円節減することができました。



(6) 関連記事

『神奈川新聞』2005年(平成17年)9月21日(水)

読書の秋。本の貸し出しを自宅から。横浜市立図書館では十月十二日から、インターネットを利用して貸し出し予約システムを導入する。中央図書館(西区)と同区以外の十七区の各図書館で、自宅のパソコンから圖書の予約ができるようになる。利用開始に先立ち、サービスを受けるた

市立図書館

ネット予約を  
10月12日開始

めのパスワード登録を二  
十一日から、市立図書館  
のホームページ(H.P.)  
などで受け付ける。

本の貸し出し手軽に

市立図書館ではこれまで、圖書のH.P.で予約がで  
る。予約した圖書の準備  
状況を確認し、メールで知  
る。同H.P.の「蔵書検索」  
で希望の圖書を指定し、  
予約できるほか、借りた  
圖書のH.P.で予約がで  
る。予約した圖書の準備  
状況を確認し、メールで知  
る。同H.P.の「蔵書検索」  
で希望の圖書を指定し、  
予約できるほか、借りた

貸出期間の延長(一週限  
り。次の予約が入ってい  
ない場合)も行える。  
サービスの利用には事  
前登録が必要で、登録は  
自宅のパソコンなどのほ  
か、図書館H.P.と各図書  
館に設置された利用者検  
索機で、貸し出しカード  
番号などを入力して行  
う。

(香川 直幹)

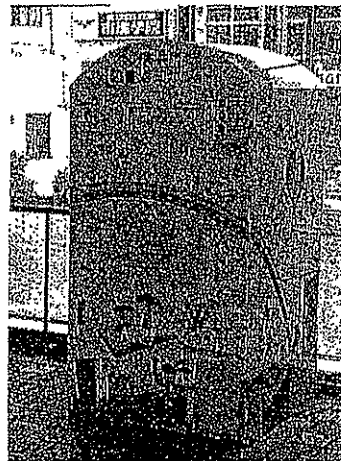
『神奈川新聞』2005年(平成17年)5月19日(木)

図書返却ポストもテロ対策

自宅が遠い人や忙しい人で、同区役所職員は「テロ対策も、気軽に図書館の本を借りら  
で駅のごみ箱などが撤去の方向  
れるようにと横浜市青葉区は」  
に同かう中、投入口を治安対策  
のほど、東急田園都市線市が尾  
のために施設することが不可欠  
駅に市立図書館の図書返却ポ  
ストを設置した。  
ごみなどの異物  
投入を防ぐため  
投入口を常時施  
錠し、市立図書  
館の図書館カ  
ードで解除する全国初導入の最新  
型だ。

投入口施錠し  
カードで解除

ポストは高さ百七十センチ、幅九十  
センチ、奥行き八十センチで、最高三  
百冊が入るといふ。投入口の  
関係から幅四十センチ、厚さ六センチ  
以下の本に限られるが、年末年始  
を除いて二十四時間返却でき  
る。



新しく設置された最新型の図書返却ボックス  
＝東急田園都市線市が尾駅

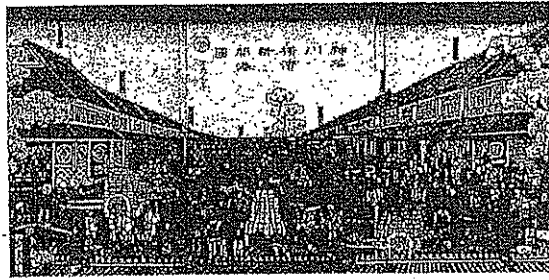
青葉区が  
駅に設置

今後は利用状  
況を見守り、他  
地区への導入も  
検討するとい  
う。  
(鈴木 陸夫)

設置初日の十六日朝は三十一  
冊、翌十七日朝には八十冊が回  
収され、区民の評判も上々。子  
供が借りた本の返却に訪れた市  
ヶ尾町に住む主婦は「図書館は  
開館時間が短いので、二十四時  
間返却できるのは大変助かる」  
などと喜んでいった。

# 横浜の歴史的な資料を公開

横浜中央図書館のホームページで閲覧可能



五雲亭貞秀「神名川横浜新開港図」山口屋藤兵衛  
万延元年 (1860) 2月

URL:<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/library/index.html>

横浜中央図書館 (小川 恵一館長) が所蔵する幕末・明治期を中心とした歴史的な資料や市政の基礎データである行政資料などが、このほど同館のホームページに公開された。

これまでは館内で見ることができなかった貴重な資料群が、自宅のパソコンで見ることができるようになった。公開は「横浜の歴史と文化に関する電子資料 Yokohama's Memory 「都市横浜の記憶」と題し、刊行物をはじめ、浮世絵や絵葉書などの画像データも見ることができ、こ

れらの画像は、高精細な表示に適した閲覧ソフト (無料) を利用することによって、オリジナル資料と遜色ない再現も可能という。公開しているのは本、地図、浮世絵、絵葉書など合わせて約七千点以上。また、キーワード検索によって、従来の書誌事項 (書名や著者名など) に加え、基本的な資料の目次・索引情報も閲覧可能。さらに、時代ごとに年表や地図もあり、横浜の歴史や本についての解説テキストも読むことができる。同館では、今後も公開データを順次拡大する予定。

『神奈川新聞』2005年 (平成17年) 4月29日 (金)

『』での公開を始めた。市民局と教育委員会の協力で図書館のシステムを利用した。

公開されるのは、図書館コーナーの蔵書のデータが完了した地区センター六十七カ所と、コミュニティハウス (旧青少年図書館) 十三カ所。平均蔵書数は地区センターが一万冊弱、コミュニティハウスが二万冊程度。探している本の所蔵状況を、自宅で検索して知ることが出来るほか、図書館データベースとの一元化により、検索した図書の日次や内容も分かるという。貸し出し中かどうかについては同センターなどに問い合わせる必要がある。

アクセスは①横浜市立図書館トップページ→同

## 蔵書データ HPで公開

地区センターなど

横浜市は二十八日、地区センターの図書コーナーなどの蔵書データについて、ホームページ (H

蔵書検索ページ→全区案内ページ→各区のトップページ→地区センター等

蔵書検索トップページ  
などの方法がある。  
(署名 藝弘)

# 貸出票の裏に広告

## 経費節減150万円見込む

立館 市書 横図

財源確保策の一環として、横濱市立図書館は二の裏面に広告を掲載す  
て、十一日から、本を貸し出ると同時に、年間の経費  
節減額を約百五十万円と見込んでいる。

市立中央図書館(西区)と各区の図書館(十七館)で導入する。「貸出票」と、館内の蔵書検索機で図書を検索情報をプリントする「資料情報」には感熱ロール紙が使われており、この裏面に広告を載せる。

市が広告入りロール紙の提供を受ける仕組みだ。削減見通しの約百五十万円は市立図書館で使ったロール紙の購入経費(二〇〇四年度ベース)。初回の広告掲出企業は、中古書籍やCDなどのインターネット販売を手掛ける「イーブックオフ(eBOOKOFF)」。六月に市が約五十

社に参加を呼び掛けたところ、電通東日本を通じて同社のみから申し込みがあったという。企業一社のみだった。利用者の反響によっては今後の対応を考えると説明している。

「図書館の発行物に中古書籍を扱う企業の広告を掲載する意図」について、市教育委員会中央図書館は「申し込みを受けたのが中古本を売買する  
市立図書館では財源確保対策として、四月から図書館ホームページへのバナー広告掲載も行って  
いる。(香川 直幹)